



米軍は日本を守っているの？

「日本の国民や利益に対する脅威があるわけではなく、日本に役立つような米軍の使い方などないのです。日本に駐留しているのは、何10億ドルもの駐留経費を日本が負担してくれて安上がりだから」（キャロル・空母ミッドウェイ元艦長）

全国でわきあがる 米軍基地 強化反対!の声

「アメリカが日本を守ってくれているのだから基地強化も経費負担も当然」と安倍内閣は強弁しますが、「米軍再編」でさらに苦しめられるのは日本国民です。いま米軍基地の集中する地域では、米兵による殺人、強盗などの凶悪犯罪や、事故、騒音被害が住民生活を脅かしていますが、基地被害に苦しむ全国の自治体で住民ぐるみの反対運動が大きくなっていきます。

住民投票で市民の過半数がNO!

岩国（山口）

紛争地へ真っ先に殴り込む海兵隊の基地があります。低空飛行など軍用機の騒音に悩む住民に、こんどは空母艦載機の移駐が押しつけられようとしています。

「基地と共存」の立場の市長も「これ以上の基地強化は許せない」と住民の先頭にたっています。

美ゆら海・ジュゴンを守れ!

名護（沖縄）

在日米軍基地の75%が集中する沖縄。一昨年夏にも米軍ヘリ墜落事故が起こった普天間基地を返還する代わりに、辺野古沖に巨大新基地をつくる計画は10年にわたる住民の運動で中断に。しかし、政府はあくまで基地建設を強行する構え。

11月の知事選挙で「基地反対」の系数知事誕生が重要になっています。

黙っていたら百年先も基地の街

座間・相模原（神奈川）

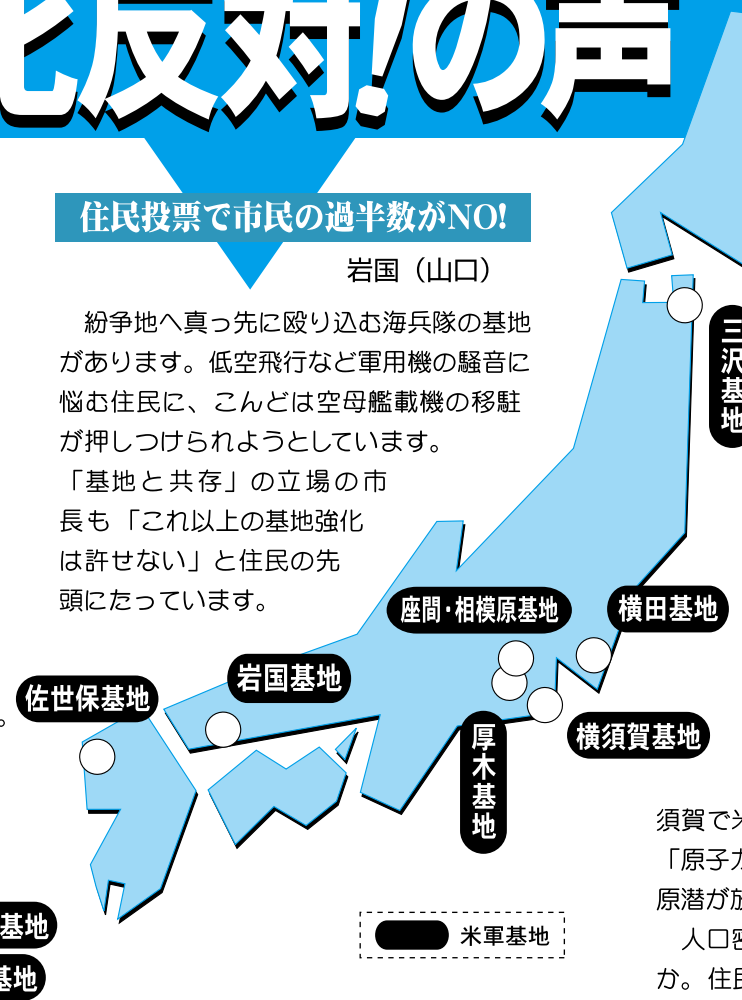
イラクでの地上戦を指揮する米陸軍司令部の移転に、「ミサイルを撃ち込まれても阻止する」（座間市長）、「戦車に轢かれても反対」（相模原市長）と固い決意を表明、日米両政府のゴリ押しに怒りが広がっています。

「動く原発」とんでもない!

横須賀（神奈川）

神奈川は沖縄に次ぐ「基地県」。1月には横須賀で米兵による女性惨殺事件が起こりました。ここに「原子力空母」が配備されようとしています。9月末には原潜が放射能漏れの事故を起こしたばかり。

人口密集地の首都圏に「原子力空母」などもってのほか。住民投票運動が始まっています。



平和の願いにそむく 北朝鮮の核実験

ミサイルの発射や核実験など、平和を脅かす北朝鮮の動きは許せません。

しかし、「北朝鮮の脅威」を口実に軍事力の強化や、日米の軍事一体化を押し進めることは、北東アジアの緊張と対立をさらに高めることとなります。国連を中心に「6カ国協議」など、あくまで平和解決の道を追求する以外にありません。

◆ この先何十年も、この国に外国の軍隊が駐留し続けて平気だとする国が、世界で一人前の大人の国と認識されるはずがない。 寺島 実郎（日本総合研究所理事長）